

祝 460m事業完成



県道 榛原菟田野御杖線 桃俣工区  
開通を祝う会 開催報告

平成29年3月18日（土）県道榛原菟田野御杖線桃俣工区（宇陀郡御杖村桃俣地内）全線460mのバイパス区間の事業が完成しました。

事業の完成に併せて、奈良県知事、御杖村長をはじめ地元関係者とともに、「開通を祝う会」を開催しました。また、御杖村主催による「開通をお祝いする催し」が行われ、県・村議会議員や消防団等各種団体、近隣地元住民を含め約110名が参加しました。



主催者挨拶  
奈良県知事

現道の拡幅は難しかったが、川側に道を作ればとのご意見をいただき、無事開通することができた。

地域の発展のため、今後、県内でいろいろなイベントを企画している。道路の開通により、県に来ていただく方も便利になる。これからはいろいろなことを仕掛けていきたい。



期待の言葉  
桃俣区長

桃俣地区は、村内で最も高齢化が進んでおり、世帯の過半数が高齢者の一人暮らしである。そして、区民の多くは自動車に依存しており、健康に不安を抱えている。そのため、安全・安心な生活の実現に向け、この道路がますます大きな役割を果たしていくことを期待している。



主催者挨拶  
御杖村村長

バイパス道路は長年の悲願だった。この道路が開通することで、生活道としての安全性が向上する。また、大型観光バスの走行が可能となることで、三季館の利用客がますます増加すると期待している。バイパスの完成とともに、桃俣地域をはじめ、御杖村の更なる振興を目指したい。



期待の言葉  
観光協会長

三季館では、毎年リピーター客と結束の強い交流を展開している。

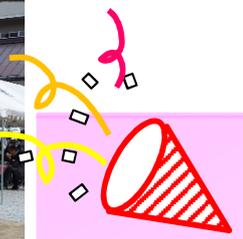
今春の三季館のリニューアルオープンに合わせ、桃俣バイパスが開通した。これにより、悲願であった大型観光バス等がスムーズに運行ができるため、団体合宿客の集客増加を大いに期待している。

〈開通式典〉

荒井知事や伊藤御杖村長が挨拶し、地元桃俣区長の中野氏及び御杖村観光協会長で三季館長でもある西俣氏から期待の言葉をいただきました。地元の方々が見守る中でテープカットを行うなど、地元の喜びに包まれた式典となりました。

## 〈開通をお祝いする催し〉

開通を喜ぶ地域の方々のご協力のもと、桃俣地区の獅子舞の演舞及び「しし雑煮」の振る舞いがおこなわれました。



## 『しし雑煮』振る舞い



## 『桃俣の獅子舞』披露



## 〈式典〉

### テープカット



### パレード



## 桃俣地区へのアクセス改善



現道部



バイパス部